

レガシーとは云わない、
時代とともに生きるPR誌

2012年春号より
リニューアル

學 鐙

広告媒体資料

「學鐙」は、幅広い文化人・知識人の読者を持ち、質の高い広告媒体として最適です

全国の大学・短期大学に籍をおく人文系の政治学・経済学・経営学から社会学・心理学・社会科学の研究者・教育者の方々、また理工学系の研究者1万人と、全国の熱心な読書人の皆様5000人に届けられ、愛読されています。學鐙は、これらの方々へむけて新刊書籍の情報を知る広告媒体としての価値を持つものです。国立図書館・公立図書館や大学・短期大学の図書館等約800館においても最新の書籍情報誌として活用されています。

丸善出版

學鏡 広告媒体資料

丸善の創業は1869年(明治2年)2月、株式組織の会社設立第一号である輸入商社「丸屋商社」がその始まりといわれます。わが国の企業PR誌の嚆矢が「學鏡」です。本誌は、1897年(明治30年)3月に創刊され、創業者の早矢仕有のが恩師である福澤諭吉のアドバイスを受けて、当時の学界を中心に学問を広くすすめる雑誌をつくらうとしたとの記録が残っています。和洋図書のほか文房具なども紹介する評論随筆誌でした。創刊当初「學(まなび)の燈(ともしび)」と称し、その後「鏡(あぶみ)」に変えたのは、「鏡」が乗馬のときに足を掛けて登るものであることから登竜を意味し、本誌を「**学問の登竜門**」にしたいという自負に基づくとする一説があります。

1902年から1929年まで実質的な初代編集長を務めたのが、内田魯庵で、作家にして英露文学の翻訳家、評論家など実に多才でした。執筆陣には坪内逍遙、夏目漱石、井上哲次郎らが名を連ねていました。編集長は後に水木京太、本庄桂輔に受け継がれ、小泉信三、新村出、小宮豊隆などのエッセイを掲載し、極めて質の高い誌面をつくりました。戦時中、休刊を余儀なくされたこともありますが、一貫して作家や学者との交流を通じて寄稿者を広げ、洋書の紹介など欧米文化の輸入窓口としてその存在感を高めました。

2012年春号から丸善出版株式会社の下で、季刊誌として刊行。毎号特集テーマを中心に、「**文化論的な随筆は一つの哲学的な空間を構成しているようだ**」と高い評価をいただいています。出版の本領に迫るPR誌を目指します。

体 裁：A5判
発 行：年4回毎月5日発行〈季刊誌〉3月/6月/9月/12月
発行部数：15,000部
発売形態：読者へ直接郵送および書店販売
定 価：250円(税込)、年間購読料1,000円(税・送料込)

広告料金および寸法

◆記事中

1/4頁 = 20,000円 天地 84×左右 55mm
1/3頁 = 35,000円 天地 176×左右 35mm (一般広告)
1/3頁 = 25,000円 天地 176×左右 35mm (出版広告)
1/2頁 = 40,000円 天地 84×左右 113mm
1頁 = 80,000円 天地 176×左右 113mm (1色)

◆表 2 = 110,000円 天地 176×左右 113mm

◆表 3 = 100,000円 天地 176×左右 113mm

◆表 4 = 120,000円 天地 176×左右 113mm (カラー)

*表示料金は税別料金です。締め切りは、発売の2か月前の月末。

広告原稿は、原則として完全データまたは原寸版下でお願いいたします。

入稿写真の線数100-133線、印刷方式：オフセット・スクリーン線数133線です。

データ入稿は、フォトショップ形式、またはイラストレーター、仕様書添付・原寸出力見本が入用です。

ご不明の点がありましたら丸善出版「學鏡」係、または広告代理店までお問い合わせください。

主な読者

大学・短期大学の社会科学・人文科学系理工学系の教授・准教授・講師、一般読書人、全国の公共図書館・大学図書館、機関関係官庁、新聞社・出版社等。



★年間広告の実施、複数頁の広告のご依頼については広告代理店様とご相談ください、割引料金などの調整をさせていただきます。

★掲載内容・ご希望号をFAXにてご連絡下さいますようお願い申し上げます。なお、スペースの状況により掲載をお受けできない場合もございます。ご不明の点は編集担当までご照会ください。

丸善出版株式会社 學鏡編集室

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17 神田神保町ビル6階 TEL(03)3512-3268 FAX(03)3512-3272 gakuto@maruzen.co.jp
<https://www.maruzen-publishing.co.jp>

取 扱 店